

品質管理システム◆ユーザー情報誌

Studio ▶ Q

スタジオ・キュー



●主な記事●

- ・ どうなる単位量表示 (1-2 面)
- ・ 週間ニュース (3 面)
- ・ 我が社の営業マン (3-4 面)



◆ 発行 ◆ 住友セメントシステム開発株式会社

PC アプリケーション事業部

URL: <http://www.sumitem.co.jp>

ユーザーHPアドレス

URL: <https://user.sumitem.co.jp/supernet/top.aspx>

2009 年 秋号 (年 4 回発行・通算 64 号)

どうなる単位量表示

平成 22 年 4 月 1 日より、レディーミクストコンクリート納入書への単位量表示が義務化されます。また、購入者からの要求があれば、バッチごとの計量記録及びこれから算出した単位量を提出しなければなりません。今回も前号に引き続き単位量についてお話をさせていただきます。

最近、単位量の出力方法に関するお問合せが増えています。「当社の出荷管理は対応できるのか」とか「制御盤の改造をしなければならないのか」、「どうやって単位量を納入書に印刷するのか」といったお問合せです。そこで、今回は単位量データの算出方法や納入書への出力方法についてご説明させていただきます。

まず単位量データの算出方法についてですが、単位量は制御盤で計量した際に記録される動荷重値とそのときの補正値を元に計算されます。出荷管理から制御盤に設定値が送られ、制御盤側では表面水補正や過大粒過小粒補正といった補正を設定値に掛け合わせ、製造量やバッチ分割を行って計量しています。そして計量した動荷重値を使って今度は逆のパターンで計算し単位量を算出します。そのため計量する際に使った補正値を制御盤に記録しておくことが必要になるのですが、制御盤によっては記録できていないものがあります。そのため今回の JIS 改正に合わせるには制御盤の改造が必要になってくるケースが出てきます。しかし、制御盤が最近のパソコンタイプの制御盤ならまだしも基盤タイプの古い制御盤やパソコンタイプでも古いものは改造できないようです。そうすると制御盤を新しいものに入れ替えなければならなくなり費用がかかります。そこで当社の出荷管理「Super Net PS-S」を改造し、制御盤から送られてくる動荷重値を元に単位量を算出する機能を設けました。

操作盤の動荷重をベースに各種補正値を加えて単位量を演算する仕組みで、制御盤から補正値が送られてくる場合には、それを使いますが、送られてこない場合には出荷管理側でその不足分を入力して補います。後は演算手順に基づいて計算され単位量が算出される仕組みです。もちろん制御盤から単位量データそのものが送られてくる場合には、そのデータを利用することもできます。

次ページからはスミテムの納入書、単位量計算プログラムの対応についてお話しします。

スミテム(出荷管理システム)PS-Sの対応

1. 納入書への印字

①標準配合、②修正標準配合については出荷管理システムに印字用の設定値を持ち、物件配合登録時又は出荷予定作成時に選択可能です。

③計量読取記録から算出した単位量、④計量印字記録から算出した単位量に関しては、出荷指示後に入力画面を表示し、入力したものを納入書に印字するようにしました。

⑤計量印字記録から自動算出した単位量を納入書に出力する場合は、制御盤から単位量データを受け取り、それをそのまま納入書に出力します。(注：単位量データを出力可能な制御盤に限ります)

※ Studio-Q 夏号(63号)に詳細とサンプル画像を掲載していますので、そちらをご覧ください。

2. 単位量計算プログラム

① 一定の計算ルールで単位量を自動算出する逆算機能を追加します。過大・過小、表面水、スラッジ固形分率、容積補償、バッチ量、s/a の6項目については、「どこに補正計算を入れるのか」、「桁数、丸めはどのようなのか」といった計算設定ができます。

※ 操作盤と出荷管理システムPS-Sが連動している必要があります

計算設定画面サンプル

計算順序	補正項目名	補正方法
1	過大・過小	固定値
2	表面水	制御盤値(バッチごと)
3	運搬車1台あたりの設定値の単位量(固定)	-
4	容積補償	固定値
5	バッチ量	制御盤値(バッチごと)

追加(A)...
挿入(I)...
編集(E)...
削除(D)

② 操作盤で算出された単位量を出荷管理システムPS-Sで受取り、納入書に印字します(単位量算出可能な操作盤に限られます)。表面水や過大過小といった補正係数が操作盤から送られてこない場合には、PS-Sで設定する固定値から逆算します。スラッジ濃度を連続濃度測定法で行っている場合、バッチ毎に値が変化しますので操作盤からの信号出力が必要になります。その他、バッチや配合ごとに補正係数が異なる場合も同様となります。

※ 詳細は操作盤メーカーとの打合せが必要です。

③ 計量印字記録として、外部データ出力機能を追加しました。

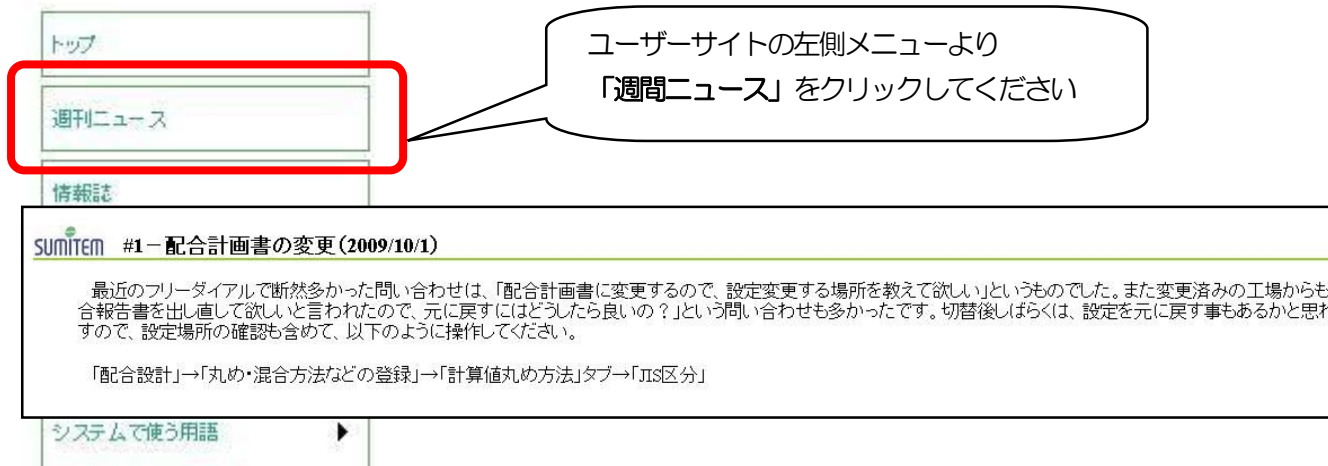
抽出した計量印字記録はCSVデータとして外部出力できますので、EXCELに取り込んだ後に、フォントサイズなどを自由に調整することが可能です。

※ 計量印字記録サンプルはStudio-Q 夏号(63号)に詳細説明とサンプル画像を掲載していますので、そちらをご覧ください。

【注意】 単位量対応には出荷管理のバージョンアップが必要です。また、バージョンアップ後に単位量データの確認や配合の見直し等の作業が必要になります。特に年明け以降はバージョンアップ作業をご希望される工場様が集中することが予想される上、内容によっては制御盤の改造が必要になる場合も出てきますので、お早めに対応することをお勧めします。

週間ニュース

スミテムのユーザーサイト充実の一環としてホームページに新コンテンツ「週間ニュース」コーナーを設けました。毎週、フリーダイヤルへの問合せを分析し、件数の多かったものをピックアップし解説付きで掲載します。システムを使うときのヒントや他の方々がどういった時にフリーダイヤルを利用し、どのような質問をしているのか判り、フリーダイヤルで質問する際のご参考になるかと思えます。是非ご利用ください。



ユーザーサイトの左側メニューより「週間ニュース」をクリックしてください

sumitem #1 - 配合計画書の変更(2009/10/1)

最近のフリーダイヤルで断然多かった問い合わせは、「配合計画書に変更するので、設定変更する場所を教えてください」というものでした。また変更済みの工場からも、合報告書を出し直して欲しいと言われたので、元に戻すにはどうしたら良いの?という問い合わせも多かったです。切替後しばらくは、設定を元に戻す事もあるかと思うので、設定場所の確認も含めて、以下のように操作してください。

「配合設計」→「丸め・混合方法などの登録」→「計算値丸め方法」タブ→「jis区分」

システムで使う用語

ユーザーHPアドレス <https://user.sumitem.co.jp/supernet/top.aspx>

当ページに初めてアクセスする際は、ユーザー登録が必要になりますので、2008年春号(通算58号)を参考者に登録して下さい

我が社の営業マン



氏名：植田 智亮(うえだ としあき)

出身：大阪

趣味・特技：サーキットレース・剣道初段

今春、新たに大阪販売チームに加わりましたホープをご紹介します。

彼は今まで店舗内装ディスプレイ会社の営業をしていましたが、自分の成長のため「新しいものに挑戦したい!」と思い、全く無縁の世界に飛び込んできました。

「クール」なイメージの彼ですが、坂本竜馬が言ったと言われる



世の人は 我を何とも 言わば言え 我が成す事は 我のみぞ知る

が座右の銘というほど、非常に熱いハートを持った男です。その熱いハートと誰とでもすぐにうちとけられる性格を武器にきっとお客様のハートを掴んでくれるのではないのでしょうか。

彼の趣味はサーキット場でレースをすることですが、**B級ライセンス**を持つほどの腕前で、その技術を活かして、平日は「お客様のもと」へとすいすいと駆けつけることでしょう。（もちろん一般道では模範的な安全運転を心がけています！）

「お客様がいるから自分があることを忘れずにがんばりたい」という思いを胸に、現在は「生コン」や「パソコン」の知識を身につけている最中です。

氏名：谷本 真康（たにもと まさやす）

出身：東京都江東区

趣味：野球、映画鑑賞、釣り

東京本社に元気な若手営業マンが加わりました。当事業部では久しぶりの新卒採用となり、部内に活気が出てきました。彼は一見控えめに見えますが、高校時代は野球部で副主将を勤め、甲子園を目指した**熱血高校球児**でした。3年連続首位打者、ゴールデングローブ賞、ベストナイン受賞とイチロー張りの活躍をしていたかどうかはわかりませんが、2009年、入社と同時に野球部にも入部し、活躍が期待されています。



彼は、東京都江東区出身でありながら、幼少の頃から海に親しみ、最近では東京湾の若洲堤防で「ヒラメ釣り」のポイントを開拓し続けているそうです。その一方で、社会人になってからも毎月欠かさず映画を観に行ったり、会社近くの東京都現代美術館に絵画鑑賞に行ったりするなど趣味も多彩です。いろいろなものへの好奇心がお客様へのサービスに生かされることでしょう。

新社会人としてスタートしたばかりですが、毎日猛勉強と工場訪問を繰り返し鍛えられています。

両名とも、今後は生コンクリート業界の知識を深く身につけ、お客様の問題解決にお役に立てるよう頑張ってもらいますので、工場へ訪問した際には、何なりとご相談、ご指導下さいますようお願い申し上げます。

住友セメントシステム開発株式会社

本社	●〒135-0003 東京都江東区猿江 2-16-5 スミセ深川ビル 7F	TEL (03) 5600-8955 FAX (03) 5600-8959
大阪支店	●〒541-0052 大阪市中央区安土町 3-2-14 サキビルディング 4F	TEL (06) 6271-7110 FAX (06) 6271-7122
札幌営業所	●〒060-0003 札幌市中央区北3条西 2-10-2 札幌HSビル 10F	TEL (011) 232-1748 FAX (011) 221-1017
福岡営業所	●〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-2-5 紙与博多ビル 8F	TEL (092) 476-3377 FAX (092) 476-3378
名古屋営業所	●〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 2-14-19 住友生命ビル 3F	TEL (052) 566-2500 FAX (052) 566-3285